

Cisco ATA 186 に関する FAQ および一般的な問題

目次

[概要](#)

[ソフトウェアの選択、ロードおよびアップグレード](#)

[ハードウェアのインストール、Power Up FaultおよびATA 設定機能](#)

[IP アドレッシング \(DHCP\)](#)

[ゲートキーパーを備えたATA 186 の使用](#)

[一般的なトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco アナログ電話アダプタ (ATA) 186 は、通常のアナログ電話と IP ベースのテレフォニー ネットワークを接続する、ハンドセットとイーサネット間のアダプタです。ATA 186 は加入者の構内に設置され、それぞれ独自の電話番号を持つ 2 つの音声ポートをサポートします。このアダプタは、デジタル加入者線 (xDSL)、固定ワイヤレス、またはケーブル モデムを通じて、イーサネット接続により配置されるブロードバンド パイプを利用しています。また、イーサネット LAN でも使用できます。

このドキュメントの目的は、ATA 186 に関してよく寄せられる質問に答えることです。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

注: このドキュメントでは、ATA 186 の設定可能なパラメータは太字で表示されます。

ソフトウェアの選択、ロードおよびアップグレード

Q. ATA 186 のソフトウェアはどこで入手できますか。

A. ATA 186 のイメージは、[Cisco Software Center](#) ([登録ユーザ](#)のみ) からダウンロードできます。

Q. ATA 186 の MGCP または SCCP をサポートするために特別なイメージが必要ですか。

A. はい。メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (MGCP) または Skinny Call Control Protocol (SCCP) に必要な特別なイメージがあります。このイメージは、[Cisco Software Center](#) ([登録ユーザ](#)のみ) からダウンロードできます。

Q. 自分の ATA 186 で実行されているソフトウェア バージョンを確認するにはどう

すればよいのですか。

A. ATA を表示すると、ソフトウェア バージョンは左下隅にあります。または、ATA のファンクション ボタンを押して、接続された電話から 123# を入力すると、音声自動応答装置 (IVR) によってソフトウェア バージョンが再生されます。詳細については、『[Cisco ATA 186 基本設定](#)』を参照してください。

Q. ATA 186 をソフトウェア バージョン 1.34 からソフトウェア バージョン 2.1x にアップグレードするにはどうすればよいのですか。

A. ソフトウェアをバージョン 1.34 から最新リリース (2.1.x) にアップグレードするには、まずバージョン 2.0 にアップグレードしてから、次に 2.1x にアップグレードする必要があります。詳細については、『[Analog Telephone Adaptor \(ATA \) のアップグレード](#)』を参照してください。

Q. ソフトウェア バージョン 2.0 はどこからダウンロードできますか。

A. ソフトウェア バージョン 2.0 は、最新の ATA 186 ソフトウェア リリースの transition.zup という名前の zip ファイルにあります。このファイルは、[Cisco Software Center](#) (登録ユーザーのみ) からダウンロードできます。

Q. ATA 186 でサポートされる異なる VoIP プロトコルは何ですか。

A. 特定のソフトウェア リリースでロードする場合、ATA 186 は次の VoIP プロトコルをサポートできます。

- H.323 v2 および v4
- SIP (RFC 2543 bis)
- MGCP 1.0 (RFC 2705)、MGCP 1.0/ネットワークベースのコール シグナリング (NCS) 1.0 プロファイルおよび MGCP 0.1
- SCCP

Q. 自分の ATA 186 でソフトウェアをアップグレードできないのはなぜですか。

A. ATA 186 のソフトウェア アップグレードに失敗する主な理由には、次の 3 つがあります。

- イメージ名が正しくありません。PC で次の DOS コマンドを入力するときに、ソフトウェアのファイル名が正しいことを確認します。ata186us software_file_name. zup -d1 -any2
- ATA 186 に 100# A*B*C*D*8000# を入力するときに、使用する PC の IP アドレスが正しくありません。注: PC の IP アドレスが 192.168.1.10 の場合は、100#192*168*1*10*8000# を入力します。
- PC と ATA 186 の間の IP 接続障害が発生しています。

Q. TFTP サーバを使用して ATA 186 のソフトウェアをアップグレードするにはどうすればよいのですか。

A. 詳細については、『[Analog Telephone Adaptor \(ATA \) のアップグレード](#)』を参照してください。

Q. 実行可能ファイルを使用して ATA 186 のソフトウェアをアップグレードするにはどうすればよいのですか。

A. 詳細については、『[Analog Telephone Adaptor \(ATA \) のアップグレード](#)』の「[ATA 186 のアップグレード方法](#)」セクションを参照してください。

Q. prserv.exe をダウンロードするにはどうすればよいのですか。

A. prserv.exe プログラムは、[Cisco Software Center \(登録ユーザのみ \)](#) からダウンロードできます。

注: prserv.exe プログラムは、最新の Cisco ATA 186 ソフトウェア リリースの zip ファイルに含まれています。

Q. ATA 186 が TFTP サーバでプロビジョニングされない原因は何ですか。

A. ほとんどの場合、ATA 186 TftpURL パラメータが、ATA 186 プロファイルをホストする TFTP サーバの正しい URL または IP アドレスに設定されていません。

次は、ATA 186 が DHCP サーバ経由で TFTP サーバ アドレス (IP アドレスまたは URL) を受信する場合に該当します。

- ATA 186 のパラメータ TftpURL が 0 に設定されていることを確認します。
- TFTP サーバを配置するために DHCP サーバが URL を提供する場合は、ATA 186 パラメータ DNS1IP と DNS2IP が正しく設定されていることを確認します。(ATA は URL を解決するために DNS サーバを必要とします)。
- TFTP サーバを配置するために DHCP サーバが IP アドレスを提供する場合は、ATA 186 は DNS サーバに照会する必要がありません。
- DNS 要求を解決するために DHCP サーバで指定された DNS サーバ アドレスを使用する場合は、DNS1IP と DNS2IP パラメータが 0 に設定されていることを確認します。

Q. CFGINTERVAL で指定した設定よりも頻繁に ATA 186 が TFTP サーバに接続する原因は何ですか。

A. TOCONFIG パラメータを 0 に設定する必要があります。工場出荷時のデフォルトは 1 に設定されます。これは、ATA 186 に適切な動作のプロファイルが存在しないことを意味します。適切な動作のプロファイルを設定したら、このパラメータは 0 に設定する必要があります。これには、TFTP サーバのプロファイルでパラメータ TOCONFIG を 0 に設定する必要があります。

Q. 自分の ATA ではバージョン 2.14 がすでに実行されています。バージョン 2.15 以降にアップグレードするには別のライセンスを購入する必要がありますか。

A. いいえ、ソフトウェアをアップグレードするための追加料金は発生しません。シスコでは、可能な限り、ATA で最新リリースのソフトウェアを実行することを推奨します。詳細については、『[ATA 186 および 188 のソフトウェア v2.14 以前の販売終了とサポート終了](#)』を参照してください。

Q. TFTP サーバから ATA 186 プロファイルの即時更新を有効にするにはどうすればよいのですか (CFGINTERVAL の有効期限前に)。

A. 更新できるようになり次第、ATA にボックス プロファイルを更新するように要求します。これを行うには、更新の Web ページにアクセスします。たとえば、ATA 186 に割り当てられた IP アドレスがわかっているならば (ここでは、192.168.2.170 とします)、Web ブラウザを使用して 192.168.2.170/refresh ページを開き、TFTP サーバからプロファイルを更新するように ATA に要求できます。ATA がコール アクティビティの状態であれば、OK ページが表示されます。そうでなければ、Later ページが表示されます。いずれの場合も ATA は要求を記憶し、可能になり次第、自分自身を更新します。

ATA への物理アクセスがある場合は、いつでも ATA の電源を再投入することによって、TFTP サーバからプロファイルの即時更新を有効にすることができます。

ハードウェアのインストール、Power Up FaultおよびATA 設定機能

Q. ポート 2 を Cisco CallManager に登録するにはどうすればよいのですか。

A. 詳細については、『[SCCP を使用する ATA 186 を認識するための Cisco CallManager の設定方法](#)』を参照してください。Cisco ATA 186 から Cisco CallManager に 2 つ目のポートを追加するには、次の手順を実行します。

1. MAC アドレスの最初の 2 つのニブルを切り捨て、MAC アドレスを左に移動します。
2. MAC アドレスの右端に 01 を追加します。たとえば、00070EA26032 がポート 1 の場合、ポート 2 は 070EA2603201 になります。
3. この新しい MAC アドレスを使用し、Cisco CallManager にデバイスとして登録します。

Q. 電話コードが短すぎて最も近い電話に届かない場合はどうすればよいのですか。

A. 1.8 m の回線コードを任意の RJ11 コードと交換します。

Q. ATA 186 は同じローカル エリア ネットワーク上の PC を呼び出すことができますか。

A. はい、ATA 186 は PC にインストールされている標準の H323 対応マルチメディア ソフトウェアと相互運用できます。この好例は、NetMeeting です。コールは直接またはゲートキーパー経由で発信できます。

Q. ATA 186 の部品番号は何ですか。

A. Cisco ATA186 - L - I1 と ATA186 - L - I2 はサポート終了となり、後継製品は Cisco ATA186-I1 と ATA186-I2 です。詳細については、『[Cisco ATA 186 アナログ アダプタ モデル ATA186-L-I1 および L-I2 のサポート終了](#)』を参照してください。

Q. 正しく動作させるために、ATA (閉まったウォール キャビネットに保管されている) の電源をときどき再投入する必要があるのはなぜですか。

A. [環境仕様](#)のため、ATA の電源をときどき再投入する必要があります。ATA の稼働時、非稼働時、および保管時の動作温度は 41 ~ 104 °F (5 ~ 40 °C)、相対湿度は結露なしで 10 ~ 90 % である必要があります。

Q. Cisco ATA の音声設定メニュー コードとは何ですか。

A. 音声設定メニュー コードの詳細については、『[音声メニュー コード](#)』を参照してください。

Q. イーサネット ケーブルが正しいかどうかを確認するにはどうすればよいのですか。

A. イーサネット ケーブルには 8 本のワイヤがあり、トランスペアレント RJ-45 コネクタを通してカラー コードを確認できます。ワイヤ 1、2、3、および 6 のみが使用されます。

ストレート型のイーサネット ケーブルでは、ワイヤ 1、2、3 および 6 の両端は同じ色です。ただし、クロスオーバー イーサネット ケーブルでは、ワイヤ 1 と 2 はポジション 3 と 6、ワイヤ 3 と 6 はポジション 1 と 2 でそれぞれ終端されます。

ハブを使用せずにルータや PC などの別のイーサネット デバイスに ATA186 を接続する場合は、クロスオーバー イーサネット ケーブルを使用します。それ以外の場合は、ストレート型のイーサネット ケーブルを使用します。

Q. ATA 186 が音声または Web 経由で応答しない場合はどうすればよいのですか。背面にある緑色の LED は点灯していて、上部の赤いランプは点灯しません。ネットワークには表示されていて、ping には応答します。

A. ハードウェアの交換がおそらく必要です。シスコのテクニカル サポートでサービス リクエストをオープンしてください。サービス リクエストをオープンする方法については、[テクニカル サポートへのお問い合わせ](#)を参照してください。

Q. ATA 186 の赤いボタンが点滅または点灯しない場合はどうすればよいのですか。

A. さらにトラブルシューティングするため、シスコのテクニカル サポートでサービス リクエストをオープンする必要があります。サービス リクエストをオープンする方法については、[テクニカル サポートへのお問い合わせ](#)を参照してください。

Q. ATA 186 の部品番号は何ですか。

- ATA186 - L - I1 (ATA 186 2 ポート アナログ電話アダプタ、600 Ω設定)
- ATA186 - L - I2 (ATA 186 2 ポート アナログ電話アダプタ、Complex Imp)

詳細については、『[Cisco ATA 186 アナログ電話アダプタ](#)』を参照してください。

Q. ATA 186 ファンクション ボタンを押してもダイヤル トーンが聞こえないのはなぜですか。

A. ATA 186 は次の理由により、ダイヤル トーンを発生しません。

- 接続された電話やケーブルが不良であるか、正しく接続されていません。

- 電話が接続されている ATA 186 ポートや回線に割り当てられた UID (電話番号) がありません。 UID は Web ブラウザまたは使用している場合は音声 IVR メニューを介して割り当てることができます。 IVR メニューの機能は回線 0 だけで使用できるためポート 0 が使用されている可能性があります。 ポート 0 には 3、ポート 1 には 13 を押します。
- ATA 186 は DHCP 経由で IP アドレスを受信中です。 DHCP は、バージョン 2.11 以降でデフォルトで有効になっています。 スタティック IP アドレスの設定が必要な場合は、DHCP を無効にします。 DHCP が必要な場合は、DHCP サーバと中間の接続の健全性チェックを実行します。
- ATA 186 は、GKORPROXY パラメータで IP アドレスが指定されたゲートキーパに登録しようとします。 ゲートキーパーの IP アドレスを確認します。 ゲートキーパーと IP 接続間の健全性チェックを実行します。

Q. Web GUI にアクセスするにはどうすればよいのですか。

A. 次の手順を実行します。

1. このデバイスの IP アドレスを取得するために電話のキーパッドで 80# を押します。
2. 受話器を戻します。
3. Internet Explorer または Netscape ブラウザを起動します。
4. デバイスの IP アドレスに続けてキーワードを入力します。 たとえば、Internet Explorer の場合はアドレス入力フィールドに 192.168.2.1/dev を入力します。

Q. ATA 186 にはダイヤルアップ オプションがありますか。

A. いいえ、モデム カードがないため、ATA 186 はダイヤルアップをサポートしていません。

Q. ATA 186 はモデム パススルーまたはリレーをサポートしていますか。

A. いいえ、ATA 186 はモデム パススルーまたはリレーをサポートしていません。

Q. Private-Line Automatic Ringdown (PLAR) は ATA 186 でサポートされていますか。

A. SIP および H.323 では、「hotline」または「warmline」サポートを示すためダイヤルプランで「H」ルールをプログラムできます。 この新機能の詳細については、『[Cisco ATA 186 リリース 2.14 のリリースノート](#)』を参照してください。

Q. ATA 186 で同時に許可される音声コーデックの組み合わせは何ですか。 G729A で 2 つの同時コールをサポートできますか。

A. ATA 186 では G.729a コーデックを同時に使用している 2 個のポートをサポートしません。 G.729 コーデックは一度に 1 ポートでのみ実行できます。 1 つのポートで G.729 を使用すると、他方のポートは G.711 を使用します。 ATA 186 ではこれらの組み合わせが許可されます。

- 2 つの同時 G.723.1 コーデック
- 2 つの同時 G.711 コーデック
- 1 つの G.723.1 コーデックと 1 つの G.711 コーデック
- 1 つの G.729A コーデック、1 つの G.711 コーデック (G.729A は、先着順のサービスベー

スで使用可能)

詳細については、『[Cisco ATA 186 アナログ電話アダプタ](#)』を参照してください。

Q. H.323 ファスト スタートを実行するように ATA を設定することはできますか。

A. H.323 ファスト スタートおよびスロー スタート機能は、ATA 186 の **ConnectMode** パラメータのビット 0 で設定されます。スロー スタートには 0、ファスト スタートには 1 を使用します。たとえば、**ConnectMode 0x00060000** のデフォルト値はスロー スタートの設定を示します。これに対して、**0x00060001** はファスト スタートに必要な設定です。または、音声メニューで 311 を入力して、この機能を有効にすることもできます。

Q. ATA 186 はファックス パススルーをサポートしていますか。

A. ATA 186 はファックス パススルーをサポートしています。ファックスの応答トーンを検出し、無音圧縮を無効にし、コーダー/デコーダ (コーデック) を G.711 u-law または G.711 A-law に再ネゴシエートします。ITU T.38 標準または Cisco 独自のファックス リレーはサポートされていません。

ファックス パススルー モードのために Cisco ATA を設定する方法の詳細については、『[ファックス パススルー モード用の Cisco ATA の設定](#)』を参照してください。

Q. Cisco ATA は Super G3 ファックスをサポートしていますか。

A. Super G3 ファックスはコールを確立するために 33.6 kbps を使用するため、サポートされていません。ATA は最大 14.4 kbps の速度をサポートします。

Q. Web サーバ インターフェイスまたは音声自動応答装置 (IVR) を介した ATA 186 パラメータの変更が、しばらくすると以前の設定に戻るのはなぜですか。

A. ATA 186 のプロファイルのキャッシュされた値は、フラッシュ ROM に保存されます。この値が Web サーバ インターフェイスまたは IVR を介して表示または再生されます。USEFTFTP パラメータが 1 に設定されている場合、ATA 186 プロファイルのキャッシュされた値は TFTP サーバ上にあるプロファイルと同期されます。キャッシュされた値の同期アップデートは、**CFGINTERVAL** パラメータの値で定義されたおおよその間隔または電源のリセット時に行われます。プロビジョニングのために TFTP を使用する場合は、ATA プロファイルを変更するために Web サーバ インターフェイスまたは IVR を使用しないでください。Web サーバ インターフェイスまたは IVR は、TFTP プロビジョニングを使用するために ATA を最初に設定する場合にのみ使用する必要があります。ATA をプロビジョニングするために TFTP を使用しないで Web サーバ インターフェイスまたは IVR を使用して ATA プロファイルを設定する場合は、USEFTFTP パラメータを 0 に設定する必要があります。

Q. H.323 モードで Cisco 登録レベルのセキュリティまたはアドミSSION レベルのセキュリティを使用するように ATA 186 を設定するにはどうすればよいのですか。

A. H.323 Cisco 登録レベルのセキュリティまたはアドミSSION レベルのセキュリティをセットアップするには、次のパラメータが正しく設定されていることを確認する必要があります。

- USELOGINID パラメータを 1 に設定します (0: LOGINID0 と LOGINID1 フィールドは使用

- しません。1: LOGINID0 と LOGINID1 フィールドを H.323 登録に使用します)。
- UID0 と UID1 を正しい E.164 ID に設定します。
 - LOGINID0 と LOGINID1 を H.323 ログイン ID に設定します。
 - PWD0 と PWD1 を正しいパスワードと PIN に設定します (RADIUS サーバのパスワード)。
 - AUTMETHOD を 1 または 2 に設定します (0: 認証なし、1: Cisco 登録レベルのセキュリティ、2: Cisco アドミッションレベルのセキュリティ)。
 - NTPIP を NTP サーバの IP アドレスに設定します (DHCP サーバによって IP アドレスが提供されていない場合)。

Q. 音声自動応答装置 (IVR) から Cisco ATA 186 を設定するにはどうすればよいのですか。

A. 詳細については、『[Cisco ATA 186 基本設定](#)』の「[VLAN を考慮した IP 接続問題のトラブルシューティング](#)」セクションを参照してください。

Q. Web サーバから Cisco ATA を設定するにはどうすればよいのですか。

A. 詳細については、『[Cisco ATA 186 基本設定](#)』の「[Web サーバによる ATA 186 の設定](#)」セクションを参照してください。

Q. TFTP サーバから Cisco ATA を設定するにはどうすればよいのですか。

A. 詳細については、『[Cisco ATA 186 基本設定](#)』の「[Web サーバによる ATA 186 の設定](#)」セクションを参照してください。

Q. ATA 186 の設定をデフォルトに戻すにはどうすればよいのですか。

A. これらの設定を変更する方法の詳細については、「[Cisco ATA 出荷時のデフォルト値へのリセット](#)」を参照してください。

IP アドレッシング (DHCP)

Q. DHCP を設定するにはどうすればよいのですか。

A. DHCP は、バージョン 2.11 以降でデフォルトで有効になっています。2.11 より前のバージョンでは音声 IVR メニューを使用して、次の手順を実行して DHCP を有効にします。

1. 20 を押して DHCP にアクセスします。
2. 1 を押して DHCP を有効にします。

Q. ATA 186 で DHCP の検索に失敗し続けるのはなぜですか。

A. DHCP サーバが稼働されているかどうかを確認します。また、イーサネット接続が確立されていて、緩んでいないことを確認します。

Q. DHCP アドレスを確認するにはどうすればよいのですか。

A. 電話機から 80# を押します。

Q. DHCP が不可能な場合、スタティック アドレスのために ATA 186 を設定するにはどうすればよいのですか。

A. 音声 IVR メニューを使用して、次の手順を実行します。

1. DHCP には 20# を押します。
2. 0# を押して DHCP を無効にします。
3. IP アドレスには 1# を押して、ドットに * を使用して IP アドレスを入力し、# で終了します。たとえば、192*1*1*1#。
4. ネットワーク ルート アドレスには 2# を押します。たとえば、192*1*1*2#。
5. サブネット マスクには 10# を押します。たとえば、255*255*255*0#。

Q. 音声メニューからスタティック アドレスを設定した後に ATA 186 を ping できないのはなぜですか。

A. DHCP が無効になっていることを確認します。ATA 186 では DHCP を有効にしても、スタティック ネットワーク アドレス パラメータを設定することができます。音声メニューに移動し、20 を押してから、次に 0 を押して DHCP を無効にします。必ず 3# を押して設定を保存します。

ゲートキーパーを備えたATA 186 の使用

Q. ATA 186 の登録が複数のゾーン プレフィクス コマンドを含むゲートキーパーによって拒否された場合はどうすればよいのですか。

A. ゲートキーパーで複数のゾーン プレフィクスを送信する場合、H.323 エンドポイント (つまり、ATA 186) の UserID と E.164 値 (電話番号) はゲートキーパーで定義されたゾーン プレフィクスの範囲内である必要があります。

Q. 代替ゲートキーパー機能は ATA 186 でどのように動作しますか、また代替ゲートキーパー機能ではどのような RAS メッセージがサポートされていますか。

A. ATA 186 ではプライマリおよびセカンダリ ゲートキーパー (スタティックな代替ゲートキーパー) を設定できます。また、H.225 Registration, Admission, and Status Protocol (RAS) メッセージによって設定される最大 4 つのダイナミックな代替ゲートキーパーを受け入れることができます。一時的および永続的な代替ゲートキーパーの両方を処理できます。H.225 RAS メッセージで代替ゲートキーパーのリストを受信すると、セカンダリ ゲートキーパーはダイナミックな代替ゲートキーパーと統合されて、ソートされます。セカンダリ ゲートキーパーは、最下位のプライオリティで維持および配置されます。ATA がプライマリ ゲートキーパーに自動的にスイッチバックされるようにするには、AltGkTimeOut パラメータで秒単位のタイムアウトを設定します。現在、ATA は GCF/GRJ、ACF/ARJ、RCF/RRJ、および DRJ RAS メッセージ内の代替ゲートキーパーのリストをサポートしています。

Q. ATA 186 とゲートキーパーの間の帯域幅を制限できますか。

A. いいえ、ATA 186 の帯域幅を制限することはできません。ゲートキーパーの帯域幅は設定で

きます。

一般的なトラブルシューティング

Q. パスワードを忘れた場合、ATA 186 を回復するにはどうすればよいのですか。

A. ATA 186 には、2 つの重要なパスワードがあります。1 つは ATA Web サーバ インターフェイスへのアクセスを保護する **UIPassword** です。もう 1 つは、TFTP プロファイルへのアクセスを保護する **EncryptKey** です。

UIPassword の値を忘れてしまっても TFTP でプロビジョニングにアクセスできる場合は、TFTP から **UIPassword** を変更できます。ただし、TFTP 経由でプロビジョニングしない場合、または両方のパスワードを忘れてしまった場合は、トラブルシューティングのために Cisco TAC でサービス リクエストをオープンしてください。サービス リクエストをオープンする方法については、[TAC へのお問い合わせ](#)を参照してください。

Q. ATA 186 をアナログ ポートに接続すると電話の呼び出し音が鳴るのはなぜですか。

A. 呼び出し音をオフにすることはできません。デフォルトでは、ATA 186 をアナログ ポートに接続すると、呼び出し音が必ず鳴ります。

Q. ATA 186 をデバッグするにはどうすればよいのですか。

A. デバッグ ツール、prserv.exe プログラムは NPrintfconfiguration パラメータとともに使用されます。ata186-v2-13-0110a-2.zip をダウンロードすると、prserv.exe ファイルを見つけられます。Nprintfvalue はコンピュータの IP アドレスで、音声メニュー 81#、または Web ブラウザを介して設定できます。IP アドレスと一緒に port# 9001 を必ず含めます。

Q. Cisco ATA が Cisco IOS® ゲートウェイ経由でファックスを使用しているときに問題をトラブルシューティングするにはどうすればよいのですか。

A. Cisco ATA が Cisco IOS ゲートウェイを通してファックスを使用している状態でトラブルシューティングする方法については、『[ファックス パススルー モードを使用するファックス サービスの設定とデバッグ](#)』の「[Cisco ATA 186/188 ファックス サービスのデバッグ](#)」セクションを参照してください。

Q. ATA 186 のアナログ ポートに接続されている電話から転送またはリダイレクトされるコールは正常に動作しないのに、コールの発信と受信が可能なのはなぜですか。

A. これは、コールを転送またはリダイレクトできないためです。CallManager で H.323 ゲートウェイとして ATA 186 を設定したと想定されます。この機能を使用するには、デュアル回線 H.323 クライアントとして設定することを推奨します。または、CCO から SCCP と MGCP 用の ata186-v2-12-ms-1129b-1.zip v2.12 ソフトウェアをダウンロードして使用できます。このイメージは MGCP または Skinny ゲートウェイとして ATA 186 を使用できるようにします。

Q. コールが接続または切断されているときに Cisco ATA FXS ポートの回線の極性

を制御するにはどうすればよいのですか。

A. コールが接続または切断されているときに Cisco ATA FXS ポートの回線の極性を制御するには、『[Cisco ATA 186/Cisco ATA 188 アナログ電話アダプタ アドミニストレータ ガイド](#)』の「[極性](#)」セクションで説明したように極性のビットマップ パラメータを設定できます。

注: コールの切断後も ATA でレコーダ トーンが再生される場合は、問題を解決するために [Polarity] フィールドを `0x0000000c` に変更します。

Q. Cisco ATA 186 でコールが終了されません。この問題をトラブルシューティングするにはどうすればよいのですか。

A. この問題を解決するには、ATA 186 Web インターフェイスで [\[Polarity\]](#) フィールドを `0x00000002` に設定します。これにより、ATA はページングシステムの切断を示す「バッテリーリバーサル」信号を送信します。ATA 186 Web 設定の詳細については、「[Web サーバによる ATA 186 の設定](#)」を参照してください。

Q. Cisco ATA 186 で組み込みの HTTP サーバに接続できません。問題をトラブルシューティングするには、どうすればよいですか

A. 次の正しい URL で ATA 186 にアクセスしていることを確認します。 `http://<ATA-IP>/dev`。

Q. Cisco ATA 186 の自動登録の障害をトラブルシューティングするにはどうすればよいのですか。

A. ATA 186 の自動登録は、XMLDefault ファイルのサイズが 4000 を超えると失敗します。手動登録を使用する場合、この問題は発生しません。解決策は、ATA ソフトウェアの TFTP バッファ サイズを 4000 から 10000 に増やすことです。詳細については、Cisco Bug ID の [CSCsd44357](#) ([登録ユーザ](#)のみ) を参照してください。

関連情報

- [Cisco ATA 186 アナログ電話アダプタ](#)
- [Cisco ATA 186/Cisco ATA 188 のインストールと構成ガイド](#)
- [Cisco ATA 186 基本設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)